



宜野湾市上下水道局 告示第 23 号

## 宜野湾市水道施設整備事業の評価について

宜野湾市水道施設整備事業の効率的な執行及びその実施過程の透明性を一層向上させるとともに、同事業の適切な実施に資することを目的に行った宜野湾市水道施設整備事業再評価に対する学識経験者による審議結果は、以下のとおりであると公示する。

令和 3 年 5 月 18 日

宜野湾市上下水道事業管理者  
上下水道局長 島袋 清松



### 1 評価対象事業

宜野湾市水道第 11 次拡張事業

### 2 実施主体

宜野湾市

### 3 事業の再評価

#### 1)事業採択後の事業をめぐる社会経済情勢の変化

産業状況や地域開発動向、給水人口や給水量等の分析を行った結果、給水人口及び給水量の実績は、本事業の計画値には至っていないが、平成 27 年度にキャンプ瑞慶覧の一部(西普天間地区)の返還が実現し、跡地の有効利用に向けての取組みが進められており、更なる水需要が見込まれる。したがって、今後の整備は現計画のとおり進めることが妥当であると考えます。

#### 2)採択後の事業の進捗状況

事業費ベースの進捗状況は、事業全体で 59.7%、配水管新設事業で 26.4%、老朽管更新耐震化事業で 74.4%となっているが、今後も継続的に事業を行っていく予定であり、効率的に事業を推進することで、目標年度である令和 7 年度までにはすべて完了予定である。

開発区域新設事業については、キャンプ瑞慶覧跡地(西普天間地区)利用計画と調整を図りつつ、今後も計画的に進めていく予定である。

### 3)コスト縮減および代替案立案等の可能性

#### (1)工事コストの低減

- ・配管布設工事を道路整備事業と同時施工することにより、土工・舗装本復旧等の費用の削減を図る。
- ・道路管理者と協議の上、浅層埋設による水道管布設を行い、コスト縮減を図る。

#### (2)工事の時間的コストの低減

- ・水道配水用ポリエチレン管の採用により、工事期間を短縮することができ、時間的効率の向上を図る。

#### (3)工事における社会的コストの低減

- ・再生クラッシュラン等の再生資源を利用し、コストの低減を図る。
- ・低騒音型建設機械の活用により、工事における環境改善により環境負荷の低減を図る。
- ・道路整備事業と同時施工することにより、交通規制の短期化を図り、交通渋滞の緩和を図る。

#### (4)ライフサイクルコストの低減

- ・耐久性、安全性の高い材料やエネルギーの機器により整備し、ライフサイクルコストの低減を図る。

#### (5)代替案立案の可能性

- ・管路耐震化及び老朽管更新を行うことで、飲料水を安全に継続して需要者に届けることが可能となる。そのため、管路以外で飲料水の輸送方法を除く代替案は、需要者自ら飲料水を常時確保する以外に方法はないが、現実的でないことは明らかである。

### 4)費用対効果分析

所定の手法に基づき分析を行った結果、全体事業における費用便益比(B/C)は1.75、残事業の費用便益比(B/C)は3.82と、いずれも1.00以上の値を示している。よって、全体事業および残事業ともに投資効率性は妥当であると判断できる。

## 4 宜野湾市水道施設整備事業の再評価に対する第三者の意見

令和3年5月14日に、学識経験者等の第三者から意見を聴取した結果、「計画どおり事業の実施が妥当であると判断する。」と評価されている。

## 5 再評価の結果

### 1)今後の方針

事業を継続する。

### 2)継続する必要性

水道事業は、住民に対する衛生的な環境の確保という目的のみならず、社会基盤施設として住民生活、社会活動に必要不可欠なものとなっている。